

施設の小規模化と家庭的な養護の推進

社会的養護が必要な児童を、可能な限り家庭的な環境において安定した人間関係の下で育てることができるよう、施設のケア単位の小規模化、里親やファミリーホームなどを推進

より家庭的な養育環境

児童養護施設

大舎(20人以上)
中舎(13~19人)
小舎(12人以下)

1歳~18歳未満(必要な場合0歳~20歳未満)

職員

施設等のほか
就学児童6:1
3歳以上4:1
3歳未満2:1

569か所
定員33,994人
現員30,695人(90.3%)

小規模グループケア(ユニットケア)

本体施設において小規模なグループによるケアを行う

1グループ6人

職員1名+非常勤職員を加配

21年度458か所
→26年度目標800か所
(乳児院等を含む)

地域小規模児童養護施設(グループホーム)

本体施設の支援のもと地域の民間住宅などを活用して家庭的養護を行う

定員6名

職員:専任2名+その他の職員(非常勤可)

21年度190カ所
→26年度目標300か所

小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)

養育者の住居において家庭的養護を行う

定員5~6名

職員3名以上(うち1名以上が生活の本拠を置く)

21年度53か所
→26年度目標140か所

里親

家庭における養育を里親に委託

(4名まで)

養育里親
専門里親
養子縁組里親
親族里親

登録里親数 7,185人
(うち養育里親5,842人)
(うち専門里親548人)
委託里親数 2,837人
委託児童数 3,870人

→26年度目標
養育里親登録8,000世帯
専門里親登録800世帯

乳児院

乳児(0歳)、必要な場合幼児(小学校就学前)

124カ所
定員3,794人、現員2,968人(78.2%)

里親等委託率

$$= \frac{\text{里親} + \text{ファミリーホーム}}{\text{養護} + \text{乳児} + \text{里親} + \text{ファミリーホーム}}$$

22年3月末 10.8%
→26年度目標 16%

児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)

養護施設等退所後、就職する児童等が共同生活を営む住居において自立支援

21年度59所 →26年度目標 160か所

（参考）

※「26年度目標」は、子ども子育てビジョン
施設の定員等の全国計は福祉行政報告例(平成22年3月末現在)